

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●尾形充弘調教師がJRA通算800勝を達成

2月24日(土)の2回中山1日・第2レースではシャイニーロケットが1着となり、同馬を管理する尾形充弘調教師(美浦)は、史上35人目、現役では4人目となるJRA通算800勝(8093戦目)を達成しました。

●大山真吾騎手がJRA初勝利をあげる

2月24日(土)の1回阪神1日・第6レースではナムラシンウチが1着となり、同馬に騎乗した大山真吾騎手(兵庫・礎清次厩舎)はJRA初勝利(20戦目)をあげました。

●ネーハイシーザーが死亡

2月26日(月)、ネーハイシーザー(騾28歳)が死亡しました。1992年デビューの同馬は1994年天皇賞(秋)(GI)を勝つなどJRA通算23戦8勝の成績を残して引退、種牡馬入り。2005年に種牡馬からも引退してからは、北海道新ひだか町で余生を送っていました。

●調教師2名が勇退、10名が引退

2月28日(水)付で、柴田光陽調教師(栗東/JRA通算5892戦338勝)と二ノ宮敬宇調教師(美浦/JRA通算6959戦676勝)が勇退し、池上昌弘調教師(美浦/JRA通算5810戦453勝)、岩元市三調教師(栗東/JRA通算7093戦497勝)、尾形充弘調教師(美浦/JRA通算8102戦800勝)、加藤敬二調教師(栗東/JRA通算6092戦480勝)、小島太調教師(美浦/JRA通算5694戦476勝)、佐藤正雄調教師(栗東/JRA通算3479戦198勝)、二本柳俊一調教師(美浦/JRA通算4440戦182勝)、福島信晴調教師(栗東/JRA通算5811戦363勝)、目野哲也調教師(栗東/JRA通算6517戦472勝)、和田正道調教師(美浦/JRA通算1万636戦672勝)が引退しました。

●新規調教師7名が開業

3月1日(木)付で、美浦では田中博康調教師、林徹調教師、和田勇介調教師、栗東では高柳大輔調教師、武幸四郎調教師、武英智調教師、安田翔伍調教師、以上7名の調教師が新規開業しました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●エンプレス杯(川崎)でアンジュデジュールが2度目の重賞制覇

エンプレス杯(JpnII、2月28日、川崎、2100m)は、3番手を追走した4番人気のアンジュデジュール(横山典弘騎手、牝4歳、父ディープリンパクト)が、ゴール前で差し切り勝ちを収めました。1番人気のプリンシアコメータが逃げ粘るサルサディオネを捉えて2着に入り、3番人気のワンミリオンスは5着、2番人気のミッシングリンクは6着に敗れています。

●兵庫のスウォナーレがフィリーズレビューに登録

報知杯フィリーズレビュー(GII、3月11日、阪神、桜花賞の出走資格獲得は3着以内)に、スウォナーレ(兵庫)が登録しました。マーガレットS10着の内容から、芝では厳しいものと考えられます。

●飛燕賞(佐賀)はベルセルクが優勝【各地の主要3歳重賞】

飛燕賞(2月18日、佐賀、1800m)は、2~3番手を進んだ2番人気の北海道からの移籍馬ベルセルク(牡、父マンハッタンカフェ)が、先に抜け出した単勝1.3倍で圧倒的人気のリンノゲレイロを直線半ばでクビ差捉え、重賞初制覇を果たしています。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●豪G1フューチュリティS~元日本調教馬が1、2着

2月24日に豪ヴィクトリア州のコーフィールド競馬場で行われたG1フューチュリティS(芝1400m)は、C.ウィリアムズ騎手を背に3番手を進んだブレイブスマッシュ(牡5歳、父トーセンファントム)が残り100mを切って先頭に立って優勝。G1初制覇を果たしました。中団から追い上げたトーセンスターダムが0.75馬身差の2着に入り、元日本調教馬がワンツーフイニッシュを決めました。ブレイブスマッシュは美浦の小笠倫弘厩舎の所属馬として2歳時に重賞のサウジアラビアロイヤルC(芝1600m)に優勝。昨年3月に競走馬登録を抹消し、その後オーストラリアのD.ウィアー厩舎に移籍。昨年10月には芝レースとしては世界最高賞金を誇るジ・エベレスト(芝1200m)で3着に入っていました。

●香港G1香港ゴールドC~タイムワープがレコード勝ち

香港三冠シリーズの第2戦にあたるG1香港ゴールドC(芝2000m)が2月25日にシャティン競馬場で行われ、昨年12月のG1香港Cの勝ち馬タイムワープ(騾5歳、父アーキベンコ、A.クルーズ厩舎)が逃げ粘って優勝。1999年4月にジムアンドトニックがG1クイーンエリザベスII世Cで記録したコースレコード(2分00秒10)を塗り替える1分59秒97をマークしました。